

# 会 議 録

- 1 会議名 平成 30 年度第 3 回上越市スポーツ推進審議会
- 2 議題（公開・非公開の別）
  - (1) 平成 29 年度スポーツ推進事業実績（見込み）について (公開)
  - (2) 平成 30 年度スポーツ推進審議会の進め方（案）について (公開)
- 3 報告事項 (公開)
  - (1) 平成 30 年度体育関係予算の概要について
  - (2) (仮称) 上越市体操アリーナ整備事業について
  - (3) 平成 30 年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について
  - (4) 課名等の変更について
  - (5) その他
- 4 開催日時 平成 30 年 3 月 23 日（金）午後 2 時から 3 時 15 分まで
- 5 開催場所 教育プラザ事務所棟 2 階 201 会議室
- 6 傍聴人の数 0 人
- 7 非公開の理由 なし
- 8 出席した者 氏名（敬称略）
  - ・委員：土田了輔、齋藤隆雄、高橋達也、佐藤一徳、森田昭彦、春日清美、滝本篤透、倉石義行、川澄陽子、高野幸夫、加藤國治
  - ・事務局：田中課長、石澤参事、白石副課長、山崎係長、高橋主事、佐久間生涯スポーツ指導員、加藤係長（教育総務課）、石黒指導主事（学校教育課）
- 9 あいさつ  
【土田委員長】  
円滑な進行をよろしくお願いしたい。
- 10 議題
  - (1) 平成 29 年度スポーツ推進事業実績（見込み）について、山崎係長が資料 1 に基づき説明。  
  
【山崎係長】  
資料の訂正として、施策 1 の成果指標「スポーツイベントの参加率」の平成 29 年度達成状況の見込みについて、99.8%となっているが、93.8%に訂正をお願いしたい。

【山崎係長】

補足説明として、施策 2 の成果指標が実績よりも大幅に低い理由は、成果指標を決める際に、上越市第 6 次総合計画と整合がとれるように設定したためであることをご了承ください。

(2) 平成 30 年度スポーツ推進審議会の進め方(案)について、山崎係長が資料 2 に基づき説明。

【土田委員】

分科会形式にした場合、「生涯スポーツ」と「競技・学校体育」に分かれるとのことだが、両方の分科会に出席しなければならない可能性はあるか。

【白石副課長】

基本的にはどちらか 1 つの分科会に出席していただく予定である。

1 1 報告事項

(1) 平成 30 年度体育関係予算の概要について、山崎係長及び石澤参事が資料 3 に基づき説明。

【山崎係長】

資料の訂正として、「体育施設整備事業、体育施設管理運営費」の「スポーツ公園野球場ナイター照明設備工事」について、「設備工事」ではなく「設備設計業務」に訂正をお願いしたい。

なお、前回の審議会で、市内の日体協公認上級コーチの活用についてご意見をいただいた。このことについて、当課では学校の体育授業や部活動に専門的指導者を派遣するべきであるという意味合いだと捉えた。

現在の市の制度として、小学校の課外活動や中学校の部活動に参加している児童・生徒の競技力の向上を目指すスポーツ活動サポート事業がある。

体育授業での活用はできないが、今年度も継続して当事業を実施していく。

【白石副課長】

補足説明として、「一般スポーツ活動推進事業」の「スポーツ振興奨励金の創設」について、平成 28 年度まで実施していたスポーツ振興奨励金制度は、奨励金の交付対象を高校生までとしていたが、平成 30 年度から大人も対象とし、拡充した事業である。制度の周知方法として、4 月 1 日号の広報上越への掲載や上越市体育協会、その加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、各学校、その他の団体向けにチラシを作って 3 月中に発送する予定である。

(2) (仮称) 上越市体操アリーナ整備事業について、石澤参事が資料 4 に基づき説明。

**【高橋委員】**

近年の異常気象により、沿岸部や平野部でも積雪が多くなっている。屋根からの落雪の対応等は考えているのか。

**【石澤参事】**

屋根は落雪型ではなく堆雪型である。屋根の積雪荷重は 1.4mの積雪まで耐えられるよう設計を進めているため、今冬の積雪程度であれば耐えられる。堆雪型であるため、基本的には落雪が起きないようにしているが、屋根の軒先ぎりぎりまで雪止めをつけるよう設計している。

**【高野委員】**

(仮称)上越市体操アリーナの建設場所について、道路が狭く、157台もスムーズに通れないのではないかと。アクセスの仕方、アクセス方法で建設費用とは別に予算を計上しているのか。

**【田中課長】**

地元を始めとして、道路が狭いという意見はあるが、観光道路ということで前から大型バスも行き来しているため、道路の拡幅に係る予算は検討していない。しかし、道に迷わないように道路標識を立てる等の検討は必要だと考えている。また、大会時に車が混在するようであれば、警備員を立てる等必要があれば検討する。

万が一、駐車場が足りなくなった場合、近隣のスペースや中学校の駐車場を借りることも考えている。

**【高野委員】**

駐車場を借りるとしても、やはり道が狭い。利用者は結構大変なのではないか。その点も含めて標識等しっかりした方法で対策してもらいたい。

(3) 平成 30 年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について、加藤係長が資料 5 に基づき説明。

質疑応答なし

(4) 課名等の変更について、山崎係長が資料 6 に基づき説明。

質疑応答なし

(5) その他

**【倉石副委員長】**

2 点伺いたい。1 点目は、中学校の部活動について、3 月中旬にスポーツ庁から指針が出された。それに対する市教育委員会としての具体的な方策はあるか。

### 【石黒指導主事】

中学校部活動の指導員について、平成 30 年度に調査・研究を進め、条件がそろえば平成 31 年度から事業化することを考えているが、平成 31 年度に必ず実施できるかは未定である。

### 【倉石副委員長】

競技団体からすれば、子どもたちの練習時間の減少による競技力の低下が危惧されている。このことに対して、地域や競技団体がどのように子どもたちの競技力を補っていくのか、また、才能ある子供たちの受け皿をどのように作ると良いのかということ市体育協会として考えていかなければならない。市の方針等決まり次第お知らせいただきたい。

2 点目に、様々な面で事業や予算が拡充されている一方で、総合型地域スポーツクラブの支援がなかなか進まない。各区は活動に疲弊して非常に困っているのに、各区のスポーツ活動に対する市の施策があまりにも無さすぎる。13 区の内、ユートピアくびきスポーツクラブのみ活動が活発である。

市の受け皿や方向性が明確に示されていないし、支援もない。これからの大きな検討課題だと感じる。議題にあげてほしい。

### 【白石副課長】

市としても重要な課題だと認識している。平成 30 年度の審議会の進め方の「生涯スポーツ」分野の中で検討していきたい。その中で、13 区のスポーツ・運動をこれからどう進めて行くのか、意見をいただいたうえで方向性を示していきたい。

### 【佐藤委員】

学校開放について、特に中学校の体育館の利用に関して、昔は学校開放の推進のため、比較的自由に使用できたが、近年、部活動が長引いたり、土日にも試合が重なり使えなかったりしているという話を聞く。その都度調整をしていけば良いが、学校開放の現在の位置づけを教えてほしい。

### 【田中課長】

学校の体育館と一般の体育施設を開放し、年間を通じて定期利用していただいているが、700 件を超える利用申請がある。現状は利用日が重複してしまう場合があるが、可能な限り多くの団体に使ってほしいと考えているため、やり方を工夫している。例えば、今年度は平成 30 年度の体育施設利用申請時に、利用日が重複した場合は抽選を行い、また、利用時間を無制限ではなく 2 時間単位とするなどの見直しをした。初めての取組であるため、反省点が出てくれば来年度以降改善していきたい。

学校の開放時間は例年どおり 19 時から 21 時としている。

【佐藤委員】

冬の部活動は活動時間が 17 時 30 分までのため、17 時 30 分から開放することはできると思うが、部活動が延長した場合にトラブルになる可能性がある。そこを整理しておかないといけない。

【田中課長】

学校からも情報収集して、改善できることは改善したい。重要な事業であるため、要望・クレームも多いが、なるべく対応できる部分是对应し、きめ細かくやっていきたい。

【滝本委員】

総合型地域スポーツクラブに関して、資金面で苦慮しているクラブが年々増加している。どのようなかたちで運営するか模索しつつも、前に進めていない。上越 SC ネットの中で意見交換しながら、打開策を探っているところである。

県庁も知事部局に移管し、組織も変わるという通達が来た。教育委員会だけではスポーツ分野は片付けられない。総合型地域スポーツクラブは健康スポーツ・コミュニティスポーツを進める上で、インセンティブという健康ポイントが全国的に広がっている。スポーツ推進課と健康づくり推進課が手を組んで、総合型地域スポーツクラブが事業を実施できるような取り組みをしてほしい。

【田中課長】

体育課は「スポーツ推進課」に名称変更するが、組織としては教育委員会に残る。大きく変わることはないが、これを機会に教育委員会だけでは成し得ないようなことは市長部局と十分連携して、協力的に進めていきたい。

また、市長部局は、体育協会やその加盟団体、総合型地域スポーツクラブ等で行われる運動の場に参加した市民にポイントを付与する健康ポイントを、平成 30 年度から事業化し、改善点があればその都度改善するとのことである。スポーツ推進課として他に連携策があるかどうか一緒に協議し、改善していきたい。

【白石副課長】

健康ポイントについて、4 月以降、健康づくり推進課から関係団体に周知したいらしいが、詳細が詰まっていない。詳細が詰まってからスポーツ推進課に情報提供がくるし、併せて、各団体にも情報が届くと思われる。

健康増進計画が平成 30 年度に向けて見直しをされたが、初めて「運動」という言葉が入った。年代に分けて、市民に運動を意識づけして習慣化してもらうために明記された。大変重要な課題である。健康づくり関係部署と、どのような形で市民に運動を習慣づけて行くかということを中心に大きなテーマとして考えなければいけない。特に 13 区については、そもそも運動する機会がないということを知っている。上越 SC ネット等と意見を交わしながら、健康増進計画の「運動」について取組を進めていきたいと思っている。

【田中課長】

資料2の「平成30年度スポーツ推進審議会の進め方」で「生涯スポーツ」と「競技・学校体育」に分けると話したが、課題の提案について「生涯スポーツ」「競技・学校体育」の枠にこだわらず、気付いた点や意見をいただきたい。

【田中課長】

1年間ありがとうございました。教育委員会全体として審議会を形骸化させてはいけないという事で部長、教育長からも話がある中で、前回の会議で分科会の意見が出たことは、テーマを深堀して議論し、市のスポーツ行政化に繋げるという趣旨だと理解している。平成30年度に示したものはささやかな見直しではあるが、課題を深堀して1つでも改善につながれば良いと考えている。

平成30年度も引き続きよろしく申し上げます。

1.2 閉会のあいさつ

【倉石副委員長】

来年度に向けて、それぞれの課題はまだあるという感じだが、田中課長の言うとおり1つずつ地道に確実に解決していきたい。

市民から良かったと思ってもらえるような事をしていきたい。

来年も引き続きみんなで知恵を絞り、「いきいきスポーツ都市 上越市」を実現するために皆さんのお力を発揮していただきたい。

1.3 問合せ先

教育委員会スポーツ推進課企画振興係

TEL : 025-545-9246 (内線 616-1330)

E-mail : sports@city.joetsu.lg.jp